ＳＳＨ成果発表会　科学系課題研究評価表［職員用］

領域	評価観点	評価尺度			2.普通科理系領域	4.理数科	5.部活動
		A	B	C			
研究内容	動機・目的仮説	研究の動機・目的や仮説が明確に述べられており，その意義がよく分かる。	研究の動機・目的や仮説が述べられている。	目的・動機や仮説が分かりにくい。			
	方法	目的に沿った研究方法であり、その方法に創意工夫がみられる。	目的におおむね沿った研究方法である。	目的を達成する研究方法として不十分な箇所がみられた。			
	分析と結果	図、表、グラフ等が分かりやすく作成され、豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。	資料　データ　図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足している，または、図、表、グラフ等が分かりにくい。			
	考察	研究結果を踏まえた考察が述べられており、今後の研究の展望も示されている。	研究結果を踏まえた考察が述べられている。	考察が曖昧である。			
プレゼンテーション	発表構成	明快な論理に基づいて構成されており、聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、聞き手が理解しやすい表現となっている。	内容構成が分かりにくく、内容をあまり理解できない部分があった。			
	発表資料（スライド）	文字や画像が適切な大きさで、色彩に統一感があり、PowerPointの機能を有効に活用して視覚的に分かりやすいスライドであった。	文字や画像が適切な大きさで、視覚的に分かりやすいスライドであった。	文字や図が見えにくいスライドがいくつかあった。			
	話し方	自分の言葉で研究内容を説明し、抑揚や話す速度は適切であり、聞き取りやすい。	抑揚や話す速度については、おおむね適切である。	抑揚、話す速度が適切でなく、聞き取りにくい箇所があった。			